

ご使用の前に必ずお読みください

本製品は、施設等のスクリーニングに適した商品です。一般家庭での検温用途には適しません。

本製品の動作原理

本製品は、額の表面温度を舌下で測定した体温に換算した値を体温として表示するため、わき下での測定に比べて高く表示される場合があります。本製品は体温の目安として使用し、必要な場合は、本製品以外の体温計でわき下での測定をお勧めします。

ご使用にあたりお守りいただきたいこと

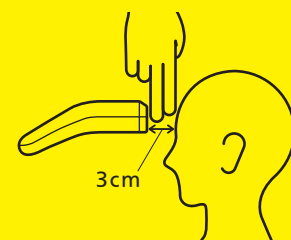
体温計を実際に使用する場所の室温になじませる

- 体温計を使用する場所に 30 分ほど置いてから使用してください。室温計がある場合は、体温計に表示されている室温が実際に使用する場所の室温に近い値になっていることを確認してください。体温計自体の温度が変化している場合、体温が高く表示されたり、低く表示されたりすることがあります。



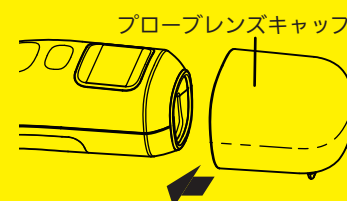
額から指 2 本分（約 3 cm）の間隔を空けて、額と平行にして使用する

- 体温計と額との距離を近づけすぎたり、離しすぎたりしないでください。また、額に対して斜めに向けて使用しないでください。体温計と額を平行にし、指 2 本分（約 3 cm）の間隔を空けて使用してください。



プローブレンズキャップをつけて保管する

- プローブレンズが汚れていないことを確認してから測定してください。プローブレンズが汚れていると、正しい測定値が表示されないことがあります。



ご使用にあたりおやめいただきたいこと

屋外での使用は避ける

- 皮膚赤外線体温計は、測定環境の温度や太陽光の影響を受けやすいため、屋外での使用を避けてください。また、風や外気が流入する場所での使用は避けてください。

汗をかいているときに測定しない

- 発汗は、皮膚の温度を冷却するための生理現象です。汗をかいて皮膚の温度が下がっているときに測定すると、体温が低く表示されることがあります。安静にし、汗が引いてから測定してください。

体温計と額の上に遮蔽物を入れない

- 体温計と額の上に前髪などの遮蔽物が入った場合、皮膚からの赤外線を正しく測定できず、体温が低く表示されることがあります。

化粧によっては使用しない

- 皮膚赤外線体温計は、皮膚からの放射赤外線を計測し、体温に換算しています。化粧によっては、赤外線の放射を抑制し、体温が低く表示されるなどの影響を及ぼす場合があります。

本体を長く握りしめない

- 本体を手で握りしめると、手の熱が体温計に伝わり、体温計の温度が変わり体温が正しく表示されないことがあります。その場合は、体温計を室温になじませてから使用してください。

裏面に続きます

表示された体温がおかしいと思われたときは

- 測定は3回行うことをお勧めします。3回の測定で値が異なる場合は、一番高い温度を体温とみなしてください。

体温表示から室温表示に切り替える方法

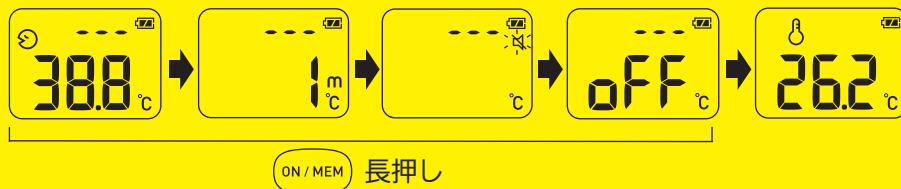
- 室温が表示されていないときは、「OFF」と表示されるまで [ON/MEM] ボタンを長押ししてください。
- 室温は、約1分ごとに更新されます。



体温表示時



室温表示時



ご使用前に、必ず取扱説明書をお読みください。